



第 14 号

2014 (平成 26) 年 10 月
NPO 法人地球市民友の会
藤沢市高倉 258 東勝寺内
☎0466-44-7570

FAX : 0466-44-0452 Eメール : npo.terratomo@gmail.com HP : <http://www.terratomo.com>

“お寺に泊まろう”は楽しかった！

夏休みの恒例行事「お寺に泊まろう」（いわゆる「お泊り会」）には、外国籍の子どもや大人、日本人の子どもや大人が集まり、8月23（土）、24（日）の両日東勝寺に於いてにぎやかに開催された。「お泊り会」は地域に住む子供たちが国籍を超え、一泊二日の共同生活をする事で国際交流と相互理解を図る事業として実施してきたものである。

初日は午後5時集合し、本堂で開会式を行った。開会式では今までにないハプニングが起こった。鈴木藤沢市長が突然お見えになり、参加者にエールを送ってくださったのだ！今回も文教大学HOPの学生さんや大人のボランティアの応援をいただきました。子どもたちにとって‘お兄ちゃんお姉ちゃん’‘おじさんおばさん’的存在であり大変頼もしい存在だった。夕食はバーベキューで満腹。そして花火遊びに興じた後、待望の「夜のお散歩?!」が始まった。月もなくお墓への道は暗かった。おそろおそろ、勇気をだして進んで行く子どもたち・・・ お寺には元気な声が9時過ぎまで響き渡った。

2日目は、6時起床、広いお寺の本堂、縁側、客殿等の清掃活動。普段やりなれないせいか子供たちには大変だったようだ。朝食は、本堂で食事の作法を学びながら和尚さん手作りのお粥をいただいた。合掌！そして坐禅。聞こえるのはせみの声とけいさくの音だけ。いつもはにぎやかな子どもたちだが、この時ばかりは静かな時の流れを感じたようだった。自由時間は学生さんのアイデアとリードでゲームを楽しむことができた。スイカ割りは、小玉スイカのため割るのが難しいのではと思っていたがみんななかなか上手！最後にイベントの締めである「流しそうめん」。 太く長い孟宗竹で作った特製の樋を流れるそうめんや時々流れてくるフルーツに大きな歓声があがった。

<子どもたちの感想>

- ・よるにはなしたこと、みんなとおにごっこことかであそんだこと。きもだめしがたのしかったです。
- ・ながしそうめんがおいしかった。ざぜんがむずかしかった。びんごがたのしかった。（1年生）
- ・きもだめしは、こわくていかなかったです。ゲームはビンゴをやりました。スイカわりはわれませんでした。
- ・ぼくはきもだめしで、トマトのかんをおにがおしえてくれた。ねるときはねむりました。ほんとうにたのしかったです。（2年生）
- ・ぼくは一番きもだめしが楽しかったです。一回目はさいしょのおばけを見ただけでにげたりもしました。ほかに火の玉をふりまわすおばけもありました。そしていっぱいわながありました。水でつぼうなどがありました。帰りは走って帰りました。
- ・ともだちもできたし、やったこともないことがあったのしかったです。（3年生）
- ・今年は姉妹で参加しました。肝試しは1回目にはげだしたけど2回目はできました。ぞうきんがけで大変でした。ざぜんは少しきつかったです。新しい友だちがたくさんできてよかったです。また来年も来たいです。

- ・流しそうめんが楽しかった。みかんがとれてうれしかった。ざぜんをやって足がしびれていたくなかった。ビンゴが楽しかった。早くビンゴになったからうれしかった。(4年生)
- ・今回が2回目だったけどお泊まりをしたことがなかったので「すいか割り」などしたことはなかったので初めてのことがたくさんできて楽しかったです!! 知らない子がたくさんいたけどみんなと遊んだりして仲良くなれてよかったです!! 2回目の最後は男女みんなで「ドロケイ」をしてもっと仲良くなれたと思います!! (6年生)
- ・肝試しのお化け役をやらしてもらったのですが、男の子の集団に色々やられて大変でした。でも2回目のすいか割りや、ながしそうめんや、お楽しみ会はとても楽しかったです。お寺の朝食も意外とおしかったです。(中学1年)

<以下は学生さん、大人の感想>

- ・今回初めて参加させていただきました。1泊2日、子どもたちといっしょに生活して、たくさんの元気とパワーをもらいました。学生が企画した肝試しとお楽しみ会も無事成功に終わり安心してます。お寺の朝食(粥)、坐禅、流しそうめんなど初めての経験もたくさんできたので、良い経験になりました。お世話になりました。またの機会があればぜひ参加したいです。
- ・今回お手伝いさせて頂いて、数年前まで楽しむ立場だった私が主催側の苦労や楽しさを学ぶことが出来ました。また、子ども達とたくさん話のできたので、子どもの考え方なども知ることができました。肝試しとビンゴゲームは大変でした。子ども達の興奮する気持ちを落ち着けるのに苦労しました。このような経験をできる機会はなかなかないので参加して良かったと思います。来年チャンスがあれば参加したいです。
- ・このように小学生と一緒に遊んだり交流することは普段の生活では無く子どもたちはすごいパワーがあって元気だなと驚きました。今回はじめてお寺のお泊まり会に参加したのですが、とても楽しかったので来年もできれば参加したいなと思いました。また、せっかく子どもたちと交流できるサークルに入っているのいろいろなイベントに参加していきたいと思いました。
- ・昨年に引き続き参加しました。大学生の数が少なくとても不安でしたが、子どもたち同士で勝手に遊び始める姿を見て、大人の助けがなくてもコミュニティが作っていきけるんだと感心しました。このいいイミで混じり気のないまま成長してほしいと思いました。お母様方のお泊まりの少なさ、肝試しのオバケの数の面からも、来年はもう少しだけ学生数を増やして頂けるとありがたいです。
- ・肝試しはリアルですごく良かったです。流しそうめんは日常的に自宅で出来ないので良い体験だと思います。



バーベキュー



花火



座禅



スイカわり



お楽しみタイム



素麺の槌作り

楽しかった！面白かった！大変だった！美味しかった！

みんな一緒に過ごした一泊二日のお泊り会、参加者一人ひとりにたくさんの思い出を残して無事に終わった。お泊まり会を支えてくださった大勢の皆さんには本当に感謝！

感謝！！



朝食



流しそうめん

夏の風物、流しそうめんを満喫！

9月の恒例行事になった「流しそうめんを楽しむ会」は9月6日（土）、東勝寺境内で実施された。NPO 地球市民友の会の日本語友の会、学習支援教室、スペイン語教室の児童生徒、先生、親、お泊まり会参加者やNPO関係者が寺に集まった。最近では流しそうめんを楽しむ機会や場所が少なくなってきたこともあり、なかなか好評である。長い孟宗竹でこしらえた樋を流れ下るそうめんを箸でお椀にすくい取って食べる。なかなか技が必要！？ みんなでワイワイ！ 参加者は夏の風流を満喫し、お腹も満腹になり満足の半日であったようだ。
冷水を 泳ぐそうめん はしでとる



「夏休み子ども日本語教室」開催

当NPOでは、地域に暮らす外国につながる大人や子どもに対して、日本語指導や学習支援を継続的に行っている。主に大人対象に日本語指導を行ってきた「日本語友の会」は、日本に住んでいながらまだ日本語が十分でない児童・生徒に対して、日本語の指導や夏休みの課題学習の支援をするために「夏休み子ども日本語教室」を昨年に引き続き今夏も実施する計画を立てた。



8月20日（水）～22日（金）の3日間の9時～12時、東勝寺において実施した。期間内の参加者は小学生2名であった。指導者は文教大学の学生2名と日本語教室の先生3名が担当。ちょっと贅沢な夏休み子ども日本語教室であった。

スペイン語教室より

"Gotitas de amor" 子どものためのスペイン語教室 年間報告書
("Escuela argentina" 2013年7月～2014年)

幼くして来日した子ども、もしくは日本で生まれた外国につながりをもつ子どもたちには、以下のような二つの現象がある。

- ① 入学前はスペイン語でコミュニケーションをとる(話し、理解する)。
- ② 入学後、少しずつスペイン語の使用機会が減少し、短期間で忘れてしまう。基本的な言葉は覚えているが、文法的には不完全である。例えば、"Yo no entiende." "Ese yo no puede."などである。

"Gotitas de amor"の主な目的は、子どもたちがゲームをしたり、笑顔で過ごすことを通して、楽しくスペイン語の練習をすることである。それと同時に、バランスのとれた二言語使用を促進し、その活動を通して同じ環境にある他の子どもたちと交流することにある。

NPO法人"TERRAとも"の支援を受けるこの団体は、湘南台と長後公民館を使用している。主な活動は湘南台公民館において、毎週土曜日の午前9時～午後1時までである。子どもは平均20名、教師はGisela Mendosa先生、Amadeo Gilaberto先生、Jacline Ilave先生、Ana Arakaki先生の4名である(残念なことに、Gisela Mendosa先生は今年の3月にアルゼンチンに帰国している)。

さらにNelly Uehara先生のように、わずかな空いた時間を利用して、子どもたちのためにクリスマスや母の日、父の日のカードなどの工作準備の協力をしてくれる教師もいる。

また生徒の家族と NPO 法人"TERRAとも"の熱心な協力がある。彼らのご好意のおかげで、湘南台祭り(2013年10月実施)や藤沢の国際交流フェスティバルに参加し、伝統的な食べ物の提供をした。また、ステージでは音楽の演奏もした。その他、2013年8月には交流会にも参加した。また湘南台のカトリック教会にて、クリスマスパーティーを企画し、そこで子どもたちはクラスで覚えた"Feliz Navidad" "Burrito Sabanero"を歌った。8月は夏休みをとった。



2013年7月~2014年8月までは、月曜日:午後5時~7時まで、長後公民館にて活動をした。しかし子どもたちの学校行事、サッカーや水泳などのスポーツ活動により時間の都合が合わず、一時的に中断している。

教師1人1人の努力、ご家族、ご両親、生徒、そしてNPO法人"TERRAとも"の素晴らしい援助に感謝し、これからもますます成長と向上し続けていきたいと思っている。NPO法人"TERRAとも"は交流イベントのための施設や、子どもたちとその両親、教師のために、マリンバのコンサートなどの文化イベントへ、無料招待などをしてきている。また、教師の交通費やクラスで使用する教材とそのコピー費用というようなものについても同様である。

あなたがたの援助、努力そしてそのご好意に感謝いたします。

高島理恵 Rie Takabatake

ことばカルチャ

「紅葉狩り(もみじがり)」の由来&意味は?

秋が深まってくるこの時期になると紅葉狩りツアーが盛んになる。当日本語教室でも11月15日に昇仙峡バスツアーを計画している。

「紅葉狩りとは、紅葉を見に山野へでかけること」の意味ではあるが、なぜ動物を狩りするわけでもないのに「もみじ狩り」というのだろうか?そういえば、果物を採るときに「ぶどう狩り」とか「イチゴ狩り」ということばを使いますね。早速調べることに!

「狩り」は動物などを捕まえることから始まり、小動物を捕まえる意味に広がり、さらに果物を採る意味にも使われるようになった。そこから、貴族の中には動物を狩ることをしない人々が現れ、季節の植物などを楽しむ風習が始まった。その植物を楽しむことを「狩り」で表現するようになり「もみじ狩り」というようになった。

ちなみに、「紅葉」は「もみじ」とも「こうよう」とも読むがちがいは分かるかな?英語で言うと分かり易い。紅葉(もみじ)はJapanese maple 紅葉(こうよう)はred leaves や yellow leaves と言いますが、いかがでしょう。

これからの主な行事・お知らせ

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| ☆国際フェスティバル | 日時: 11月 9日(日) | 場所: サンパール広場 |
| ☆MINTOMO交流会 | 日時: 12月 6日(土) | 場所: 湘南台公民館 |
| ☆年末国際交流会 | 日時: 12月28日(日) | 場所: 東勝寺 |

※詳細は別途チラシでお知らせします

※MINTOMO交流会や年末国際交流会の従事者: ボランティアスタッフを募集しています。FAXかEメールでご連絡ください。